

令和4年度 南保育園 SDG s



大口町立南保育園

<はじめに>

南保育園周辺は、田園風景が広がり、四季折々の自然を感じられる環境であるしかし、この豊かな環境を子どもたちは目一杯楽しんでいるのか、また太陽や風季節の移り変わりの変化に気付いているのか、と疑問に思うのが現状であった。そこで、保育園周辺の豊かな自然環境を保育に取り入れ、自然物を使った遊び、散歩、園外保育等を通し、四季折々の感動体験をする中で、同年齢や異年齢の友達との結びつきや周辺地域の人々との関わりを深め、心地よく安定した生活が送れるように取り組んでいくことにした。その中で、自分の住んでいる地域に愛着をもち、町の学芸員の方の力を借りながら、大口町の歴史にまつわる昔話や歴史的建造物などにも触れ、子どもたちに郷土愛を育んでもらいたいと思う。そして、この取り組みを通して、「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」のSDGsに繋げていきたいと考える。

<経過>

令和3年度は、園周辺の農道を散策しながら草花で遊んだり、散歩マップを作成したり、豊かな自然にたくさん触れて、子どもたちの好奇心や興味が膨らむような取り組みを行った。じっくりと散策する時間をとることで、子どもたちの好奇心や興味が広がり、四季折々の感動体験を味わうことができるようになったが、人数・時間・場所などゆとりをもって散歩に出かけようとする中で、いくつか課題も見つかった。そのひとつが、子どもたちが歩く農道の近くに、用水路や道路があり、とても危険だと感じることであった。そこで今年度は、子どもたちが安心安全に出かけるために、地域の方に「散歩サポーター」として協力して頂けないかと考え、「地域の方との交流を通して、次年度に向けて散歩サポーターの協力体制を整えていく」ことを新たな目標として取り組んでいくことにした。また、散歩活動を継続し、この取り組みが日常となるように、引率する職員の人数を増やしたり、散策する範囲を工夫したりすることも、より充実させていきたい。

そして、散歩を通して同年齢や異年齢の友達との結びつきや周辺地域の人々との関わりを深め、心地よく安定した生活を送り、子どもたちの郷土を愛する心を育てていきたいと思う。

R4年度 南保育園「郷土愛年間活動計画」

南保育園のSDGs：NO. 4「質の高い教育をみんなに」 NO. 11「住み続けられるまちづくりを」
NO. 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

ねらい：園周辺の自然や自分の住んでいる地域の良さを知り、人や町に親しみをもつ												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
主となる 園の取り組み	<p>○園周辺や農道を散歩したり、探索をしたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に探索をして、季節の草花、田畑の移り変わり、風や空の様子などに気付いたりする ・興味をもったことを観察したり、図鑑などで調べたりする <p>○マップを作成したり活用しながら、南保育園、園周辺、南地域のことを知る</p> <p>○活動内容やドキュメンテーションを掲示し、保護者の方や地域の方へ発信する</p>											
関連活動	<p>○園外散歩に出かけ、園周辺の歴史文化財や名所を見たり触れたりする</p> <p>○町の学芸員から話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀尾跡公園（裁断橋物語） ・長松寺（汗かき地蔵） ・歴史民俗資料館へ出かける（年長児） <p>○散歩で見つけたり、調べたりしたことを、子どもが放送を使って知らせる</p> <p>○子どものつぶやきを掲示や園便りなどで知らせる</p> <p>○大口町やSDGsについて学びを深める(保育士)</p> <p>○保育士や保護者の方へのアンケートをとる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町在住職員からみた大口町の魅力など ・園の取り組みを通しての保護者の気持ちの変化など <p>○地域の方と交流をしたりして、次年度に向けて散歩サポーターの協力体制を整えていく</p>											

自然のふしぎ調べ

年長組



どんな
匂いかなあ？



あひる組さんからも・・・



これなんだ？



これなに～？

農道には草花がいっぱい！せっかく
見つけても、名前がわからない…(T_T)
そうだ！！

頼りにされて嬉しいね★

しらべてみよう！



どれだろう？



みつけた！

見つけた草花の絵をかいたり、
図鑑で名前を調べたり…。
せっかく調べたから…

しらせにいこう！！

わかったよ～！

草花クイズ完成！

放送



あひる組



生き物マップづくり

年中組



ダンゴムシがいっぱい
いるね!

おたまじゃくし
見つけた!



生き物探しから
マップづくりに
発展しました



かえる
つかまえたよ!



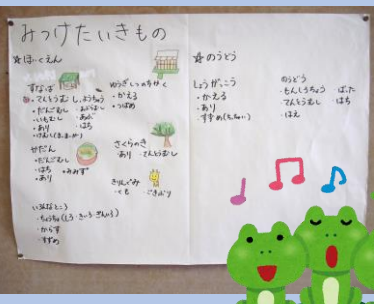
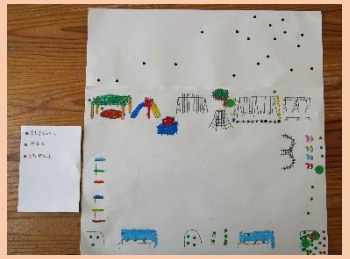
田んぼには何が
いるのかな?



見つけた生き物
見つけた場所
をかきだし



生き物マップの完成☆



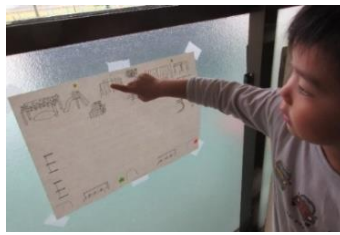
見つけた場所に
丸シールを貼り



草花マップづくり

年少組

園庭マップをつくったよ！



ここに
あったよ！



地図に親しみをもつために、宝の地図を使って宝探しゲームをしました。

草花を見つけた場所に
シールを貼りました

しろつめくさ

【春・夏】



かんむり

ぶれすれっと



あさがお

【夏】

いろみずが
できたよ！



えのころぐさ

【夏・秋】

農道で面白い草を発見！

えのころぐさは色々な場所に
たくさん生えてました！

園庭にもあった！

堀尾跡公園にもあった！

園庭でたくさんの草花に触れていると、
園外に出ても興味をもって草花を見つ
ける姿が増えてきました☆



四季の変化を感じたよ

あひる組

春

赤いトラクターだ～



田を耕すトラクターに、興味深々の子どもたち

ここを見に行ってみようか



お散歩マップを使って、前回の様子を見てから散歩へ

夏

ぴかぴかしてる～



散歩時に子どものつぶやきが増えました

秋

ゴミ収集車 ばいばい



こんにちはしてる



冬

同じ場所に、一年を通して散歩に行くことで、子どもの園周辺への興味とつぶやきが増えた

見て～見つけた



これな～に？



年長組さんに、取ってきた植物の名前を聞きに行きました

これ知ってる～



ここ行ったよね



いろいろなもの、みつけたよ **こあら・ひよこ組**

農道や園庭の散歩を通して身近な自然や風景に興味をもつ姿が見られました。

うさぎを指さす姿が見られました。



うさぎがいるね～！

じっと田んぼを眺める姿がありました。



田植え前、水が張っている田んぼの様子を見ている子どもたち。とても綺麗でじーっと見ていました。



「トラクター、ばいば～い」



草花に触れて自然に親しんでいます。



田んぼの色が変わったね～



「お米？」



みんなでお散歩の写真をんでいます。



「〇〇ちゃん、いるよ！」

考察

子どもたちは、この1年で園周辺の自然に触れ、身近な草花や虫や鳥、田畑の様子、空の変化などより興味・関心をもつようになった。

昨年の経験がある年中児や年長児は、散歩に出かけ摘んできた草花や見つけた虫を図鑑で調べたり、部屋に飾ったり、家に持ち帰る姿が見られるようになった。また、子どもたちからつぶやきや気付き、発見がたくさん聞かれるようになり、「こんなところにお花が咲いている！」「カエル見つけたよ」「落ち葉の形がおもしろいね」などと子どもたちで会話を楽しむ姿が見られた。また、年長児が散歩で見つけた草花を放送で知らせたことをきっかけに、2歳児が「これ何？」と、名前の分からない草を年長児の部屋に持ってきたことがあった。年長児はすぐに図鑑で調べ、紙にイラストと草花の名前を書いて2歳児の部屋まで持っていく姿が見られた。異年齢で散歩に出かけたり、交流することが思うようにできなかったが、このように放送をきっかけに、年長児と2歳児が繋がりをもてたことは、年長の子どもにとって年下から頼られる喜びを味わったり、自分たちで調べようとする探求心を育むことができた。

また散歩の経験が、年次ごとのマップづくりに発展した。年長児は昨年から作成している「農道きせかえマップ」に新しい発見を加え、それを使って楽しく遊んだ。年中児は、生き物に興味のある子が多く、園庭や農道で生き物探しをしていた姿から、季節に合わせて「生き物マップ」を作成した。年少児は「園庭マップ」を作成し、春に農道散歩で見つけた「シロツメクサ」「エノコログサ」が園庭にも生えていることや、夏に遊んだ「朝顔」は園庭には生えていたが、農道では見つけることができなかったことなど、マップを通して気付くことができた。未満児も、一年を通して、園周辺の自然の変化を「散歩マップ」に記し、保育士と一緒に親しんだり、触れたりして、園内外での散策活動が活発に行われた。

南保育園の郷土愛活動の中で、園周辺の農道散歩はとても有意義な時間ではあるが、少人数で自由な散策を行ったり、安心・安全に出かけるためには人手が必要であることが課題となっていた。そこで今年度は、地域の方を招いて交流をしたり、SDGsや散歩活動についての取り組みの紹介を行い、散歩時の人手の充実策を模索した。地域の方からは「近くにこんな神社があるから遊びにおいでよ」とか「小学校の見守り隊に声をかけてみてはどうか」とか「人をたくさんよんであげるよ」など、たくさんの提案をいただき、とても嬉しく思った。

今後は、保育園と地域が連携を取りながら、子どもたちの安心・安全な散歩活動に繋げていきたいと思う。